

8月臨時会・9月定例会

令和元年 第1回臨時会 第3回定例会 審議した議案と各議員の賛否

令和元年 第1回臨時会

○は賛成、×は反対、－は議長

議案番号	議案名	杉田健司	長島金作	神山俊	小島利枝	田中紀吉	山中博子	岡野茂	野口守隆	小宮正	岩田鑑郎	野原和夫	前田栄	審議結果
議案第27号	ふれあいセンター田黒新築工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決

令和元年 第3回定例会

○は賛成、×は反対、－は議長

議案番号	議案名	杉田健司	長島金作	神山俊	小島利枝	田中紀吉	山中博子	岡野茂	野口守隆	小宮正	岩田鑑郎	野原和夫	前田栄	審議結果
報告第2号	平成30年度決算に基づく健全化判断比率の報告	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	報告
報告第3号	平成30年度浄化槽設置管理事業特別会計決算に基づく資金不足比率の報告	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	報告
報告第4号	平成30年度水道事業会計決算に基づく資金不足比率の報告	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	報告
報告第5号	平成30年度一般会計継続費の精算報告	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	報告
認定第1号	平成30年度一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	認定
認定第2号	平成30年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	認定
認定第3号	平成30年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	－	認定
認定第4号	平成30年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	認定
認定第5号	平成30年度浄化槽設置管理事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	認定
認定第6号	平成30年度関口茂八奨学事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	認定
議案第28号	平成30年度水道事業会計決算認定及び剰余金処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
議案第29号	第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
議案第30号	第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
議案第31号	行政財産の使用料に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
議案第32号	印鑑条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
議案第33号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
議案第34号	木のむらキャンプ場条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
議案第35号	令和元年度一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
議案第36号	令和元年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
議案第37号	令和元年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
議案第38号	令和元年度介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
議案第39号	令和元年度浄化槽設置管理事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
議案第40号	令和元年度水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決

*読みやすくするため、議案件名を一部省略しています。

町の考えを問う

9議員が一般質問に立つ

全質問事項

田中紀吉

1. 集落支援員制度の導入を
2. ときがわ町の学童保育について

岩田鑑郎

1. 第二次生涯学習推進計画の推進について
2. 各種計画の進捗について町長、教育長はどのように関わっているのか
3. 過誤納金還付通知書は今のままの様式で良いのか

小宮正

1. 中山間地域ふるさと事業調査研究事業について
2. 城西大学との相互連携協定について

山中博子

1. 給食の今後は
2. 埼玉中部資源循環組合の今後は

野原和夫

1. 社会保障の拡充を
2. 埼玉中部資源循環組合のごみ焼却場建設計画について

野口守隆

1. 食品ロス削減について

神山俊

1. 来年度予算編成について一町長肝いり事業（予算）は一
2. 教育委員会の点検・評価報告書について
3. 埼玉西武ライオンズとフレンドリーシティ連携協定を

小島利枝

1. 高齢者の安全運転支援に補助を
2. コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入を

杉田健司

1. 集中豪雨の対応について
2. 小倉城跡の今後の展開について

集落支援員制度の導入を

田中紀吉

町長 具体的に制度設計を研究し実施につなげたい



問 昨年12月以降の進捗状況は。

口、高齢化率は。

答 平成31年4月1日現在人口1686人、高齢化率

答 情報収集と制度の活用方法を検討している。行政区の区長との協議について

は、今後協議の方法等も含め、検討する。

問 萩ヶ丘小学校校区の人

口1099人、高齢化率

答 59・59%、587人の減少が見込まれる。

問 町内3つの学童保育所の現状は。

答 町内3つの学童保育所

答 具体的にどのような制度設計が望ましいか研究し、実施につなげたい。

ときがわ町の学童保育について

問 在籍学童数は合計125名、小学校全児童数413名中30・27%の利用がある。

問 費用の違いは。

答 地域の保護者会が主体となり立ち上げた経緯があり、基本的保育料は11500円で同額であるが、ひとり親世帯の場合8500円から7250円と違いがあり、その他の料金設定にも差がある。町内どこに預けても同じ費用負担となるのが好ましいと考えている。

